

ふるさと遠阪を愛する子どもたちの育成

～未来へはばたくために～

校長 森田 秀樹

「遠阪楽校一百年先の人づくりー」を掲げ、地域の活性化に取り組まれている遠阪地域の皆様、保護者の皆様の温かいご理解とご支援を受けて、本校教育が力強く推進できておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、本校は本年度の学校教育目標を「ふるさと遠阪を愛し自ら学びたくましく生きる児童の育成」と設定し、～笑顔いっぱい きのうより一步のびる遠阪っ子～を合言葉に、地域に根ざした、信頼される安全・安心な学校をめざし、教職員一丸となって取り組んでおります。また、一人ひとりの「自立」を目指し、「豊かな心を持ち、遠阪を愛する子」「しっかり考え、自ら学び続ける子」「自他ともに大切にし、最後までやりぬく子」の育成に向け、様々な取組を推進していきます。

さて、遠阪小学校は百四十三周年を迎え、本年度をもって閉校することとなりました。みんなの思い出がいっぱいつまった学校がなくなることは、とても残念ではありますが、悲しんでばかりもられません。本年度は、子どもたちが次のステージ、そして、未来で活躍するためのパワーを養う一年だと考えています。そのために次のことを重点的に取り組みたいと考えています。

まず、一つ目は、「ふるさと遠阪を愛する。」ことです。「遠阪

は楽しかったなあ。」とか「遠阪はよかったなあ。」と、思い出に浸るのではなく、「ふるさと意識」を育てるため、ふるさと遠阪のひと・もの・ことにしっかりと見たり、触れたり、学習したりしていきます。将来の遠阪を担う子どもたち、たとえ、違う場所に変わったとしても新しい場所で、コミュニティに参加できる子どもたちになってほしいと思うからです。

もう一つは、三十七名一人ひとりが主人公になることです。感動や達成感のある充実した生活を送るためには、人に頼ってばかりいたり、人にしてもらったりではいけません。自分の考えをしっかりと持ち、しっかりと発表できる子になってほしいのです。自分の考えで行動できる子になってほしいのです。そのために、達成感のある授業の工夫や表現活動にも力を入れていきます。また、しっかりと考え、思いやりの心を持ち、何事にも最後までやりぬけるよう支援していきます。

保護者のみなさん、地域のみなさんには、遠阪小学校にできるだけ足を運んでいただき、子どもたちの活躍している場面や普段の様子を見ていただいて励ましてやってほしいと思います。本年度の遠阪小スローガンは、「さらにもう一歩」です。もう一歩前へ、前へと努力を続ける遠阪っ子の姿を楽しみにしておいてください。教職員も心新たにチーム一丸となって教育に当たってまいりますので、保護者のみなさん、地域のみなさんの絶大なるご理解とご協力を本年度もよろしくお願いいたします。